

高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）の概略ルート・駅位置について

1 趣旨

横浜市及び川崎市は、横浜市高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）について、平成31年1月に事業化の判断を発表し、早期実現に向けた取組を進めています。

市民の皆様に、事業に対する理解を深めていただくため、令和元年8月に本路線に関する説明会を開催しました。また、同年9月から10月にかけて、川崎市側の有力ルート案の考え方について意見募集を実施しました。

このたび、川崎市側のルートについては、地域交通やまちづくりの視点から評価を行うとともに、市民の皆様からの御意見等を踏まえ、総合的に判断した結果、ヨネッティー王禅寺付近を通るルートを選定し、令和2年1月に、本路線に関する概略ルート・駅位置について、両市で合意しました。

2 概略ルート・駅位置の基本的な考え方

（1）ルート・構造について

周辺の地形や土地利用、交差構造物等への影響を考慮し、地下トンネル構造を基本としたうえで、横浜市高速鉄道3号線における既設のあざみ野駅から、小田急線新百合ヶ丘駅南口付近まで延伸します。

（2）新駅について

駅間隔を横浜市営地下鉄の既存駅と同様の間隔を基本とし、4駅とします。

（3）横浜市側のルートについて

道路下などの公有地を有効活用し、既設のあざみ野駅から横浜・川崎両市の市境となるすすき野付近までを基本とします。また、駅位置については、嶮山付近及びすすき野付近を基本とします。

（4）川崎市側のルートについて

北部地域の公共交通ネットワークの充実や、駅周辺の活性化を図るため、ヨネッティー王禅寺付近に駅を設置するルートとします。

3 横浜市高速鉄道3号線の延伸に伴う駅周辺のまちづくりの方向性

（1）あざみ野駅

交通利便性を生かし、規制・誘導的手法等により商業・業務・文化機能の集積を中心とする拠点づくりを進めます。

（2）嶮山・すすき野付近

地域の状況に合わせ、周辺の環境にも配慮しながら、生活拠点としてまちづくりを進めます。

（3）ヨネッティー王禅寺付近

路線バス等の円滑な駅アクセスを可能とする交通結節機能の強化等による川崎市北部地域の公共交通ネットワークの充実とともに、周辺の住環境に配慮しながら、地域資源の活用等による賑わいの創出など、駅周辺の活性化に資するまちづくりを進めます。

（4）新百合ヶ丘駅付近

民間活力を生かした土地利用転換の誘導や交通結節機能の強化、駅周辺の回遊性向上を目指し、ハード・ソフト両面での総合的な取組により、広域拠点にふさわしいまちづくりを推進します。

4 今後の事業の進め方

概略ルート・駅位置の基本的な考え方を踏まえ、令和2年度より、条例に基づく環境影響評価手続きの着手に向けて、事業の概要や環境への配慮が必要な事項等を記載した図書の作成を進めます。

今後、国や関係者との協議・調整を進めるとともに、環境影響評価や都市計画、鉄道事業法等の手続を経て、令和12年の開業目標に向けて、早期の事業着手を目指します。

あわせて、本路線の整備効果が最大限発揮できるよう、新駅周辺の基盤整備や沿線のまちづくりに関する取組を推進します。

■ 事業概要

整備区間	あざみ野～新百合ヶ丘	整備効果
整備延長	約6.5km	○ 広域的な鉄道ネットワークの形成
概算事業費	約1,720億円	○ 新幹線へのアクセス機能の強化
ルート・駅位置	新駅4駅（既設あざみ野駅を除く）	○ 移動時間の短縮（例） 新百合ヶ丘～あざみ野 約30分～約10分 (約20分短縮 乗換なし)
事業主体	横浜市交通局（第一種鉄道事業者）	○ 沿線地域の活性化
事業スキーム	地下高速鉄道整備事業費補助（想定）	
開業	令和12年開業目標 (交通政策審議会答申の目標年次)	

■ 概略ルート・駅位置図

